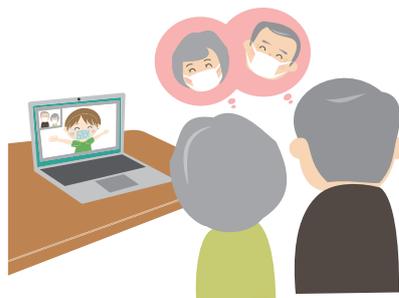


3. 帰省について

年末年始にご自身、またはご家族の帰省を予定されている人もみえるかと思いますが、帰省にあたっては三密回避を含め基本的な感染防止対策を徹底するとともに、大人数での会食を控えるなど、特に高齢者の方への感染につながらないようにご注意をお願いいたします。

十分な感染予防対策をとることが難しいと判断される場合には、帰省(ご家族の帰省も含めて)自体を控えてください。



4. 感染リスクが高まる「5つの場面」

次のような状況では感染リスクがより高まるとされています。可能な限りこのような場面は避けるようにしてください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



★全ての場面で引き続き守ってほしいこと

- 基本はマスクの着用や三密回避。室内換気の徹底を。
- 集まりは、少人数・短時間にする。
- 大声は出さず会話はできるだけ静かに。
- 清掃、手洗い、アルコール消毒の徹底を。

岐阜県における「年末年始」集中緊急対策について

岐阜県では令和2年12月15日(火)より令和3年1月12日(火)を第3波拡大阻止のための集中対策期間とし、以下の対策が実施されています。

1 県民の「行動」対策

- (1) 県をまたぐ不要不急の往来、特に愛知県との往来を自粛要請
- (2) 「酒類の提供を行う飲食店」(本町を含む県内多数の地域)に対し、営業時間の短縮を要請
- (3) 「家族以外の大人数(5人以上)での飲食」、午後9時以降の「酒類を伴う飲食」、「接待を伴う飲食店の利用」の自粛要請
- (4) 「GoTo イート食事券」の新規発行の停止